

グループホーム コスモピア高良内

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		「常に思いやりの心を持ち福祉介護を通じ地域社会に信頼される事業をめざす」という理念のもと、地域の中でその人らしく暮らせるホーム作りに努めている
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		「運営理念、方針、私達の使命」を毎朝朝礼時に全員で唱和し、仕事に取り組む姿勢を日々確認している、職員皆、暗唱できる
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		「運営理念、方針、使命」をホールの中に掲示しているので、家族の方は面会時に見てもらっている、地域の方とは、民生委員さんまたは、見学者などに理念を伝えている
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		散歩の途中で会った方や、隣の公園に、犬の散歩にこられた方達には、笑顔で挨拶を交わし合っている
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		敬老会には積極的に出かけている、近隣中学の職場体験学習を毎年、受け入れている

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	認知症の方の介護についてスタッフ皆理解を深めるよう勉強会をしている		認知症サポーター養成講座キャラバンメイトに、多くのスタッフが参加できるようにしたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	グループホームの役割や、可能性、認知症の方への介護を見直す機会として活用している		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	運営報告や、近況報告、ひやり、ハット、事故報告を行い、ご家族の意見や民生委員さんなどの意見をきき、サービスの改善点などを話し合っている		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市主催の地域密着型サービスの生活圏域事業所交流会に参加している、2名しか参加できないので、参加者に研修報告書を書いてもらい、他のスタッフに回覧している		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	権利擁護事業や成年後見制度について、勉強会は実施しているが、理解するには、まだ、不十分である		勉強会の機会をふやし、理解していき、この制度が必要な方に活用できるように支援していきたい
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	高齢者虐待防止法については、勉強会にてとりあげ、職員の認識を深め、十分に注意を払っている、見過ごす事がないように気をつけている		今後とも継続していきたい

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、管理者、担当者が家族に十分説明し、理解、納得、同意をはかり、その後も随時相談に応じている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>スタッフは日頃から、利用者さまとコミュニケーションをよくとり、相談しやすい信頼関係を築いている、相談を受けたスタッフはケアマネ、介護主任、管理者に相談し、改善策を決めている、又外部の方としては、月1回訪問の介護相談員さんと話す機会はある</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回利用者さまの家族に担当スタッフが手紙を書き、近況報告をしている、金銭管理については、面会時に報告している、職員の異動については、面会時に挨拶をして知らせている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関にご意見箱を置いているが、あまり活用されていない、面会時などに困った事がないか、要望がないか意見をきいている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>その都度意見があれば話し合いをしている、必要時はスタッフミーティングを開き意見交換をしている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の状況に応じて、勤務時間を変更したり等、柔軟な対応をとっている又、その話し合いもしている</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>できる限り、職員の異動、離職をしなくて済むよう、話し合いの機会をつくっている、やむなく代わる場合は十分に申し送りを行い利用者への影響がないように配慮している</p>		

グループホーム コスモピア高良内

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>常に人権の尊重や、公平性を意識して採用にあたっている。又、個人の特性をケアに生かせるようスタッフ間の関係性を考慮している、職員が働くだけでなく、社会参加や、自己実現を図れるような場の提供をしている</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>新人研修や法人外の研修など、随時状況に応じた研修を受ける機会を設けている</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会、久留米市介護福祉サービス事業者協議会が主催する研修会に積極的に参加するように努めている、また、研修内容を伝達し勤務で参加できなかったスタッフも資料を読んで勉強できるようにしている</p>	
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の地域密着型サービスの生活圏域事業所交流気会を通して交流する機会がある</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>相談しやすいように、日頃からのコミュニケーションを大切にしているまた、月1回のスタッフ会で、一人ひとりの意見を出し合える機会を設けている</p>	

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己評価表を記入してもらっている、又、毎日の朝礼にて倫理研究所の資料を用い仕事に対する姿勢などを勉強している		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前には、ご本人自身とケアマネージャー、介護主任が面会し、ご本人の希望、困っている事を伺っている		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の方とは事前に十分にお話を伺う時間を設けている、ケアマネージャー、介護主任が対応している		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族とご本人がまず困っている事を見極め支援している、必要な時はご家族の協力もお願いしている		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人が不安がられておられる方の場合は、家族の方に協力をお願いし、ご家族にホームにたびたびお出でいただくなど、徐々に慣れていただく様な対応を心掛けている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の会話の中で、地域の行事や伝統料理等を教えて頂く事がある、本人の得意分野を見つけ、洗濯物たたみや、お茶碗拭きなどを一緒にしている		

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方には面会時、日々の出来事やエピソードを伝え、喜怒哀楽を共にできるよう気を配っている		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の方が面会に見えた時は、一緒に会話に参加したりして、エピソードを伝えたりしている、面会に見えた事を共に喜んでいる		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方との外出、外泊、墓参りなどの申し出の際は、スムーズにできるよう対応している、ホームに訪ねて来られる知人の方もお部屋でゆっくり会っていただけるよう配慮している		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者さま同士の関係は把握できている、仲が悪くなりそうな場面がある時などは、間にはいり、事態がよくなるように配慮している		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	亡くなられた方には、葬儀・通夜に参列し、利用者さまの思い出を語り合ったりしている、利用者の家族との関係を断ち切らない付き合いを大切にしている		
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向を発言されない、できない利用者様とは会話の中で、思い・希望を感じとるようにしている、本人本位になるよう心がけている		

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から生活歴・人生歴を伺うようにしている、これまでのサービス利用の経過も把握している		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の記録、申し送り簿、医療連携ノートにて皆で情報を共有している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者を決めアセスメントしている、担当者会議や面接時に家族の意向を確認、スタッフ、介護主任と意見をきき、介護計画を作成している		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しだけでなく、状況の変化に応じて計画を変更している		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録、実践表の記録、申し送り簿を確認して、介護計画の見直しを行っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	近くのデイサービスに慰問がある時は数名参加させてもらっている		

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議では地域の民生委員さんの意見をきいている、近隣の中学からは職場体験学習に連れられ地域との交流の場としている		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	運営推進会議にて、地域包括支援センターのケアマネジャーから意見を聴いているが、現在他のサービス利用はない		外出の支援など、で地域ボランティアの方などに手伝っていただけないか話し合っている
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今までは、権利擁護や成年後見制度の利用はない		今後、必要になった場合は、地域包括支援センターと協働していきたい
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望されたかかりつけ医を最優先している、家族の意向や状況に応じて受診や往診などの支援を行っている。週に一度往診にみえる提携医の医師と密に連携をはかり、家族との橋渡し役を行っている		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医の医師は、認知症の事にも詳しく、介護の方法についてもよく相談に応じてくれる、適切な助言をいつもいただいている		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師が職員で勤務しており、日常の健康管理を行っている、全体の利用者の状況を把握している、必要時は、主に看護師が医師に連絡をとっている		

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	病院関係者と随時連絡をとっている、不安なくホームに戻っていただけるよう面会にも行っている		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	入所時にまず、ターミナルケアについて家族の意向を伺っている、状態の変化時に医師から再度確認するよう話があるので、家族に意向をきいている、方針について全員で情報を共有している		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	かかりつけ医と看護師と連携をはかり、本人の状態の変化に応じてその都度家族とも話し合いをし、本人と家族の望む支援をしている		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	入所の際は、馴染みの物品や家族の写真などを持ち込んでもらうなど、環境の変化を最小限におさえられるよう配慮している、退所の場合も話し合い、情報交換を十分に行っている		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	相手を敬う気持ちを大切に声かけを心がけている、プライバシーを守るよう、情報は注意して取り扱っている		

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の判断能力にあわせた声かけを行い、何をしたいのか、何が食べたいか、スタッフが一方的に提供するのではなく、自分で決めたり、選択ができるような声かけの仕方を心がけている		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべくご本人の希望される事を優先した過ごし方に心がけてはいるが、業務が優先されている場合もある		常に利用者主体である事を忘れないように取り組んでいきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	普段着は好みの服を選んでいただけるよう支援したり、理容、美容については、2ヶ月に一度訪問理容にきてもらっているので、希望の方は、利用されている、本人の希望の店に行かれる方もいる		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の希望や力に合わせてできる事をスタッフと準備したり、片づけしたりしている		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	希望の物を聞き、買物に行ったり一緒に買物に行き買ってきたりしている、又ご家族に持ってきていただいている		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中は排せつのサインをみのがさないようにトイレ誘導したり、失敗がないように配慮している		

グループホーム コスモピア高良内

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯は事業所側で決めている、入浴を楽しんでもらえるよう入浴剤を使ったりしている		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ひとりひとりの希望、又は状況により、午睡や休息ができるよう配慮している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの力に応じ、洗濯物畳など、買物、散歩、外出などをして気晴らしの支援をしている		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分でお金を所持する事で安心される方には、所持していただいているが、家族と相談のうえ、預かっていて、買物の際使えるように支援している方もいる		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩などは日常的に、希望をきいて、でかけている		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望があるときは、一緒にでかけている又、墓参りなどに家族と一緒にでかけられる時はスムーズに外出できるよう支援している		

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様によっては、家族とよく電話をされる方もいるが、手紙のやり取りはされていない		現在されていない方にも、提案し、支援していきたい
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人の方の訪問は多い、笑顔で挨拶し、居心地よく過ごせるよう配慮している		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者、職員全員、身体拘束のないケアを理解しており、身体拘束しないケアに取り組んでいる		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員全員で鍵をかける事の弊害を理解しており、日中、鍵はかけていない		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーを侵害しないよう、昼夜を通して、利用者の所在を把握し、常に、目配り気配りに心がけている		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況に応じて、危険を防ぐようにしている、理由なく預かる事はしていない		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会でもとりあげ、勉強している、一人ひとりの状態に応じた事故防止策をとりあげ、注意している		

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会で意識づけをしている		定期的に訓練を行い徹底したい
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時の連絡網。誘導、避難場所の把握ができています		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入所時に事故のリスクについて家族には説明している、抑圧感のない暮らしを大切にしながら、事故防止策を話あっている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異常を早期に発見し、看護師、医師、家族には速やかに報告し対応している		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳を、職員が見やすい所におき、薬についておおよそ把握できているが、全員が理解しているとはいえない、症状の変化に関してはよく観察するよう努力している		職員全員が、薬についての理解を深める
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や影響について理解している、水分摂取などに注意を払っている		

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの支援、介助を行っている、訪問歯科による管理指導をうけ、個別対応している		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量を記録し、一人ひとりの好き嫌いや食事量を把握し、習慣に応じた支援をしている		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防マニュアルをいつでも確認できるようにしている、手洗い、うがい、一行為、一手洗いを実行している		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	清潔をこころがけ、ふきん、食器を夜間1回塩素消毒している、新鮮で安全な食材を使用し管理に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ちょうど、二つの棟の間を通過して公園へ犬の散歩にきている方が多く親しみやすいのではないかとと思われる、お花を植えたりしている		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	静かな環境に立地しているので、不快な音はしない、季節の飾りをさりげなく飾り、環境整備に努めている		

グループホーム コスモピア高良内

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	3人掛けソファや、一人掛けソファなどがあり思い思いに過ごせるよう工夫している		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使いやすい馴染みの家具を居室に持ってきてもらっている		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気には気をつけている、室温は、適温に設定して、状況に応じてコントロールしている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっている、安全に生活できるよう工夫している		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自立支援に努め、混乱や失敗を防ぐために、トイレ、居室には印をしている		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節の花を植え、外には野菜を育てたり、ベランダにも自由に出入りできるようにしている		

グループホーム コスモピア高良内

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム コスモピア高良内

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

近所で、提携医であるつむら診療所の医師と看護師とスタッフとの連携のもと、開設以来8名の方を最後まで看取りました。その都度、知識を増やしていき、技術も磨いてスタッフと共に、ホームが成長しているところです。日々の生活の中では、特にスケジュールを決めずに、その日の天気や、ご利用者様の要望などに添い、穏やかに過ごして頂いています。食事も家庭的な味付けを心掛けなるべく、季節の野菜を取り入れ、ご利用者様に喜んで食べてもらいたいとの一心で、まごころ込めて作っています。ホームの周りは、桜並木に囲まれ、整備された公園に隣接しており、静かな環境で穏やかに生活していただけます、散歩や野菜づくりなども楽しむ事ができます。